

# 今日も「一丁あがり」



第49話

リアルな仕事を真っ正直に続けよう！ の巻



高垣達郎 (たかがき・たつろう)  
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に(株)ロボストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。(株)ロボストス代表取締役社長。

皆さん、こんにちは！ 手が乾燥する季節になり LOCCTANE のハンドクリームを塗り込み始めました 女子力急上昇中のロボストス高垣でございます。

さて、米国大統領選挙からいまだに目が離せません。主流メディアはバイデン氏の当選が確定したと報道していますが、トランプ陣営は「不正選挙」に対する訴訟を起こしていて、12月6日時点でまだ選挙結果が確定していません。僕がどちらかを支持できる立場ではありませんが、



写真1：ヤンマー YM7000DのPTOシャフト。ご依頼が多い部品なので、いまや朝飯前！



写真2：クボタKP100Eの特注鎮圧ローラー。材料を知らなきゃ、良い設計はできない！



写真3：その昔、地域の鉄工所が作っていたヤマトイモ掘取ディガーをチューンアップ。樹脂板の切り抜きも手抜きはしないぞ！



写真4：キセキトラクタTR63のウォーターポンププリー。旋盤もメッキもきれいな仕上がりで気分は絶好調！

多くの米国民が宣誓供述書(証言が嘘ならば禁固刑になる)を提出して不正を訴えているとのこと。実際何が起きているの?とネット検索していたら、僕の YouTube のホーム画面は不正選挙関連の動画に占領され、Facebook には米国海兵隊の広告が表示されるようになってしまいました(笑)。Facebook の性格診断断アプリから入手した個人データを利用して2016年米国大統領選挙に不正介入したという告発本『マインドハッキング』(クリストファー・

ワイリー著)によれば、僕らの SNS 上のあらゆる行動は AI で解析でき、ターゲットを定めてピンポイントに情報を与えることで洗脳し、世論を誘導できるといいます。恐ろしすぎるので YouTube を閉じて仕事に戻りましょう!! ということで、今月は直近で納品した案件をラッシュで紹介しましょう!!

## 怒涛のモノづくりラッシュ

まず一発目はヤンマートラクタ YM7000D の PTO シャフト!

駆動部品の製作はロボストスの十八番です。スプラインを読み切つて製図↓切削↓歯切↓熱処理↓研磨で一丁あがり!!

二発目はクボタ野菜移植機 KP100E の特注サイズの鎮圧ローラー! シンプルな部品ですが、手を抜くことなく、樹脂を切削してフランジを作り、樹脂パイプとインローで接着して、一丁あがり!!

三発目はヤマトイモの掘取ディガー! 溶接されていた刃先をサンダーでガリガリ剥がし、交換可能なネジ固定にカスタマイズ&焼入れ刃を製作。そして摩耗しきった樹脂板を製作して貼り直し、一丁あがり!!

四発目はキセキトラクタ TR63 のウォーターポンププリー! コグベルトの溝角度が変則的だったので、丁寧に現物を測定して、メッキでバチッと仕上げ、一丁あがり!!

報道の偏りを異様に感じて一年に渡って米国大統領選挙を追いかけた結果、もはや、何がリアルで、何がフェイクかわからなくなってきました。社会的に不安要素の多い時代だからこそ、ロボストスは世相に左右されることなく、2021年も手応えを感じられるリアルな仕事を続けてまいります。ということで、新年も宜しくお願致します。今月は四丁あがり~~~~~